



平成27年度

事業計画書

自 平成27年4月 1日

至 平成28年3月31日

ノーステック財団

公益財団法人北海道科学技術総合振興センター

平成27年度の重点推進項目

平成27年度からは、国の新しい食品表示制度が始まります。国民の食の機能性に対する関心は益々高まると思われ、同時に全国の食関連企業による新たなマーケットでのシェア獲得活動は活発さを増すでしょう。これまで、食の総合産業化を標榜してきた北海道にとっては、大きなチャンスであり、また気を引き締めてかかるべきときでもあります。

北海道は独自に食の機能性について認証を行っていますが、今後はこの先行メリットをいかに活かし他地域との差別化を図り優位性を築いていけるかが問われています。

ノーステック財団が2020プランに基づきこれまで実施してきた数々の事業のうち、食クラスター形成では食品試作実証プラットフォームでの商品開発や食の安全性有用性評価研究プラットフォーム構想等として結実しつつあり、さらに北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会活動を通じて実施する「さっぽろヘルスイノベーション’Smart-H’」事業では、食と医の融合による健康科学産業クラスター形成に向け着実に成果を出しつつあります。

また、食や健康に係るクラスター形成活動に加え、道総研との連携や道内ものづくり産業界との交流など、バランスのとれた道内産業の発展を目指した活動も展開しています。

ノーステック財団は、これらの活動・成果を踏まえ、道内における科学技術の振興を通して北海道の優位性を際立たせ、国内的にも国際的にもその競争力を確固としたものとする使命を帯びていることを肝に銘じ、時宜を捉えた的確な判断と行動を心がけ、活動していきます。

ノーステック財団の本年度の重点項目として、以下の4点を掲げます

1. 北海道の食クラスターの活性化促進と食の競争力強化を意識した活動
2. 健康科学産業クラスター確立のための仕掛けと考動
3. ものづくり産業分野での活動の展開
4. 環境産業クラスター構想の整理

ノーステック財団はこれらの重点項目に基づき、常に北海道の競争優位性を意識しながら、同時にこれらの優位性は常に変化するものであることをも意識し、真に北海道の繁栄に繋がる産業クラスター活動を柔軟に展開していきます。

目次

平成27年度の重点推進項目	i
I. 基礎的・先導的研究支援事業.....	1
1. 研究開発支援事業	1
(1) イノベーション創出研究支援事業（北海道補助/自主事業）	1
(2) 若手人材育成事業(自主事業).....	1
(3) 先端医療調査事業（札幌市補助事業）	1
2. 北海道の食の高付加価値化に向けた取組.....	1
(1) 地域イノベーション戦略推進事業「さっぽろヘルスイノベーション‘Smart-H’」 (文部科学省補助事業)	1
(2) 食の機能評価事業（北海道補助事業）	2
3. 幌延地圏環境研究事業（経済産業省補助事業）	2
II. 実用化・事業化支援事業.....	3
1. 事業化プロジェクトの発掘・推進事業	3
(1) ビジネス創出連携事業（自主事業）	3
(2) 事業化促進支援事業（自主事業）	3
(3) 地域プロジェクト創出支援事業（北海道補助事業）	3
(4) ビジネス開発支援事業（応援ファンド等利用）	3
(5) 次世代型技術研究開発事業（自主事業）	3
(6) 道産機能性食素材を活用した料理レシピ作製プロジェクト（自主事業）	4
(7) 新事業創出のためのトライアル事業.....	4
2. 実用化・事業化開発支援事業.....	4
(1) 札幌型ものづくり開発推進事業（札幌市補助事業）	4
(2) フードイノベーション創造支援事業（札幌市補助事業）	4
(3) ノーステック経済産業支援事業（自主事業）	5
(4) 健康関連産業競争力強化事業（札幌市補助事業）	5
(5) サポートインダストリー事業（経済産業省補助事業）	5
(6) ビジネス高度化支援事業（応援ファンド等利用）	5
(7) 知的財産セミナー（経済産業局補助事業）	5
3. 販路開拓・販売促進事業	5
(1) ブランド化促進支援事業（応援ファンド等利用）	5
(2) ノーステック財団産業クラスター事業報告会の開催	6
4. 地域の仕組みづくり事業（自主事業）	6

Ⅲ. ネットワーク形成事業.....	7
1. 北海道バイオ産業クラスター・フォーラム事業（経済産業局補助）	7
2. 北大リサーチ&ビジネスパーク推進支援事業（北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会委託事業）	7
3. J I C A 研修事業（J I C A 委託事業）	8
Ⅳ. 産学官連携推進事業	9
1. 「コラボほっかいどう」の運営事業.....	9
2. 「グリーンケミカル研究所」の管理運営事業	9
(1) G C C 体制の再構築	9
(2) G C C 運営のシステム構築	9

I. 基礎的・先導的研究支援事業

地域資源や地域特性等の活用に向け、研究者や技術者への研究開発支援、基礎的・先導的研究開発等の推進・支援を行う。

1. 研究開発支援事業

(1) イノベーション創出研究支援事業（北海道補助/自主事業）

大学等の研究者の研究成果を活用する実用化研究開発、地域資源や地域特性等の活用に向けた基礎的・先導的研究開発の支援を行う。

①発展・橋渡し研究補助金

北海道の将来にとって有用な新技術の創出や地域産業の振興に繋がる可能性が高い「実用化研究」に向けた研究開発を支援する。

②スタートアップ研究補助金

北海道の地域施策に関連した研究や地域課題を解決する独創的且つ萌芽的研究等を支援する。

③育成・サポート事業

本道の科学技術振興を目指した優れた研究開発計画を発掘する。研究補助金に採択した研究課題については事業化に向けたサポート業務を行う。

(2) 若手人材育成事業(自主事業)

次代を担う若手研究者が行う独創的な研究を支援するとともに異なる分野の研究者間のネットワークを形成し、将来の本道の研究基盤を確立する。

(3) 先端医療調査事業（札幌市補助事業）

健康・医療分野の優れた研究シーズを育成し、札幌市内企業による実用化を促進するとともに、健康・医療産業の更なる発展に向けて、関連企業の集積を図るための環境整備を行う。

2. 北海道の食の高付加価値化に向けた取組

(1) 地域イノベーション戦略推進事業「さっぽろヘルスイノベーション‘Smart-H’」 (文部科学省補助事業)

文部科学省の地域イノベーション戦略支援プログラムに採択され、本格的な取組みを図っている「さっぽろヘルスイノベーション‘Smart-H’」の「基本計画書」に基づき着実に事業を推進する。

(2) 食の機能評価事業（北海道補助事業）

道内で産出される一次産品のうち、素材の機能性を明らかにする事により、波及効果（付加価値化によるブランド化）が大きい素材を選定し、ヘルシーDo 取得に向け、ヒト介入試験等を実施する。

取得したデータは広くPRするとともに、道内企業が広く利活用出来るように普及活動を行う。

3. 幌延地圏環境研究事業（経済産業省補助事業）

幌延・珪藻質岩層や天北・石炭層の地下環境に関する フィールド科学及びメタンガス鉱床開発を実証するための要素技術開発を2本柱として研究開発を行う。

地層内の未利用有機物のバイオメタン化に関する研究の実施

- ①地下の微生物環境と有効利用に関する研究
- ②メタン生成環境に関する地球化学的・水理学的研究
- ③堆積岩の特性と地質作用に関する研究

II. 実用化・事業化支援事業

道内企業の実用化・事業化への支援など、産業クラスター形成に向けた諸活動や地域の仕組みづくりへの支援を行う。

1. 事業化プロジェクトの発掘・推進事業

(1) ビジネス創出連携事業（自主事業）

地域資源等を活用したプロジェクトの創出と地域版試作実証試験に係る支援

地域資源等を活用したプロジェクト等の創出に向け、地域の産業支援機関との連携強化と、技術支援機能（サポート機能）の整備を目的に、産業支援組織に対しテーマ発掘に係る活動費等の支援を行う。

また、道産食品の高付加価値化を図るためには、道内食品加工業者の技術のレベルアップが必要であり、食品試作実証プラットフォームを活用した食クラスタープロジェクトの推進、技術習得や技術を応用した試作品の開発に係る地域版試作実証試験に向けた支援を行う。

(2) 事業化促進支援事業（自主事業）

道内各地域でビジネス創造や特色のあるクラスターの形成による、地域経済の自立的・持続的発展に資することを目的に、北海道内で生産・供給される商品（またはサービス）の改良・改善、新商品の開発から販路開拓、北海道ブランド化に向けたPR戦略の確立といった一連の支援を行う。

また、コーディネーターを配置し、地域資源の発掘、新技術・新製品開発の企画提案、関係機関との連携強化等の活動を行う。

(3) 地域プロジェクト創出支援事業（北海道補助事業）

「食」と「ものづくり」のプロジェクトマネージャーを配置し、地域資源の発掘を行い、産官学のネットワークを活かした新技術や新製品開発などの地域プロジェクトを創出し、地域産業の活性化を図る。

(4) ビジネス開発支援事業（応援ファンド等利用）

地域における新事業展開等のアイデアをビジネスプラン段階にレベルアップするために必要な小規模な試作・開発やテスト事業の試行を通じて担い手企業のビジネス開発等を支援する。

(5) 次世代型技術研究開発事業（自主事業）

北海道の産業創出基盤の向上を目指し、以下の支援を行う。

①地域研究開発プロジェクトの立ち上げ支援

② 北海道内の大学等研究機関の研究開発基盤力強化支援

③北海道企業の研究開発力・事業化力の強化支援

(6) 道産機能性食素材を活用した料理レシピ作製プロジェクト（自主事業）

北海道産食素材の健康機能性を活用した生活習慣病等改善のための料理レシピを作製し、一般家庭での活用と共に外食産業や配食・給食サービス事業者での活用を促進させることで、ヘルスイノベーションの社会実装と健康産業クラスターの形成を図る

- (a) 生活習慣病の具体的症例（高血圧・脂質異常症・糖尿病・肥満）に対応したレシピの作製
- (b) 北海道産すこやかレシピの製本、発行
- (c) レシピの活用促進
 - ・配食・給食サービス事業者への提案
 - ・外食産業への提案

(7) 新事業創出のためのトライアル事業

2020 プランに基づく各クラスター形成事業の新規開拓や、将来、国・道の支援を得ながら進める大型の新規事業にトライアルするためのフィールド整備を実施する。

①具体的シーズ・ニーズの調査

- (a)道内各支援機関、各振興局、企業、研究機関等へのニーズ・シーズ調査
- (b)道外の支援機関、研究機関からの情報収集

②各部を横断した新事業へのトライアル

2020 プランに基づきニーズ・シーズを反映した具体的事業の立案とトライアルを実施する

2. 実用化・事業化開発支援事業

(1) 札幌型ものづくり開発推進事業（札幌市補助事業）

札幌市の様々な産業をけん引する「重点分野」及び、札幌市産業全体の底上げが期待される「ものづくり分野」において、札幌市内の中小企業者等が行う新製品・新技術開発（既製品の改良を含む）の取り組みを支援することによって、地域経済の活性化を図ることを目的とする。

(2) フードイノベーション創造支援事業（札幌市補助事業）

札幌圏の「食・健康」分野の研究者育成を図るとともに、研究成果を確実に札幌市

内企業へと繋げ、企業と研究機関が共同して行う事業化・実用化に向けた実証研究を推進する。

(3) ノーステック経済産業支援事業（自主事業）

①調査研究事業、研究開発事業、事業化推進事業、基盤整備事業に対する支援

北海道の産業の振興に寄与するため道内企業等が実施する調査研究事業、研究開発事業、事業化推進事業、北海道の産業振興に必要な基盤整備等の事業に対し支援を行う。

②食品の機能性評価分析支援事業

素材の安全性・動物での機能評価、更には、ヒトでの臨床試験による科学的データ取得を支援し、食関連産業を振興する。

(4) 健康関連産業競争力強化事業（札幌市補助事業）

札幌市内の食・バイオ関連企業が行う機能性食素材の科学的データ取得や、安全性・品質保証の認証取得に向けた取り組みを推進し、製品の付加価値を向上して道外・海外における競争力を高め、販路拡大につなげる事業に取り組む。

(5) サポートインダストリー事業（経済産業省補助事業）

企業ニーズを踏まえた高度「ものづくりプロジェクト」を発掘し、企業の発展を促進する。

(6) ビジネス高度化支援事業（応援ファンド等利用）

開発した商品やサービスの質の向上を図ることで市場適応能力を高めるなど、事業化を軌道に乗せるための一連の取り組みを支援し、道内中小企業をサポートする。

(7) 知的財産セミナー（経済産業局補助事業）

道内企業、公設試の研究開発者を対象に、グループワークを通じて商品・技術開発における知的財産情報の活用について学ぶ講座を開催する。

3. 販路開拓・販売促進事業

(1) ブランド化促進支援事業（応援ファンド等利用）

道内で生産・供給される商品・サービスの改良、新商品・サービスの開発から販路開拓、PR戦略の確立等の北海道ブランド化に向けた一連の取り組みを支援する。

(2) ノーステック財団産業クラスター事業報告会の開催

道内外で活動する賛助会員や企業・研究者等に、新たな研究開発や技術の実用化・事業化、マーケット開拓等に向けた取り組みの一助としていただくべく、ノーステック財団が実施する産業クラスター活動やその成果等について紹介・報告し、道内産業クラスター形成促進を支援する。

4. 地域の仕組みづくり事業（自主事業）

道内各地域の産業クラスター研究会などが取り組んでいる地域の「強み」や「特色」を生かしたものづくりや地場産業の振興、地域戦略の策定などの活動に対して支援を行う。

また今年度は、①地域活性化に取り組む人材の裾野を広げるため、地域の新たな活動グループの発掘や活動に対する支援、②北海道新幹線開業に向けた食と観光のコラボレーション商品開発に対する支援を行う。

Ⅲ. ネットワーク形成事業

産学官連携の「場」を提供する北大リサーチ&ビジネスパークの推進のほかネットワーク構築のための各種事業を行う。

1. 北海道バイオ産業クラスター・フォーラム事業（経済産業局補助）

フォーラム内で新たな研究開発が必要となったものについては、財団の研究開発支援の助成事業や他の公的資金等を活用した研究開発を促す。また、販路開拓に向けた企業間ビジネスマッチングのコーディネートを行い、販路拡大の支援を進める。

①ネットワーク形成事業

運営委員会の開催、クラスターマネジャーの配置、企業データベースの整備、食品産業の交流事業に関する活動

②連携促進事業

食産業振興に向けた検討会議の開催

③販路開拓事業

各種展示会の出展、ビジネスマッチング事業の開催、市場調査

2. 北大リサーチ&ビジネスパーク推進支援事業（北大リサーチ&ビジネスパーク推進協議会委託事業）

産学官の協働によって北大北キャンパス周辺エリアに良好な研究環境とビジネス環境が整備されたりサーチ&ビジネスパークを建設し、研究開発の促進とともに大学等が保有する知的資産の有効活用によって、新技術、新製品の開発やベンチャー企業、新産業の創出を図る。

①研究開発プロジェクトの推進

‘Smart-H’を含む健康科学・医療融合拠点形成に資するプロジェクトの情報共有・相互協力

②健康科学と医療の融合による次世代研究の推進

「健康科学・医療融合」に関する意見交換会、シンポジウム開催等

③道内企業の参画促進

パンフレット、パネル、ホームページ作成等広報や展示会出展、共催事業等企業間連携促進

④産学協働の促進

コーディネータ・ネットワーク・フォーラム、技術移転マッチング、北大 R&BP セミナー等関係機関、研究者、企業の交流促進

⑤協議会の運営

幹事会、協議会の運営、視察対応等



北大リサーチ&ビジネスパーク内に新に拠点機能が整備された、FMI
(フード&メディカルイノベーション) 国際拠点 (平成 27 年 3 月完成)

3. JICA 研修事業 (JICA 委託事業)

開発途上国の将来を担う青年層を日本に招き、それぞれの国における開発課題について日本の経験、技術の基礎的理解を付与する研修を行い、将来の国づくりを担う人材の育成に協力する。

IV. 産学官連携推進事業

産学官共同研究を推進し、研究成果の事業化・実用化を促進するため、共同研究施設の貸与・管理運営を実施する。

1. 「コラボほっかいどう」の運営事業

北海道産学官協働センター(コラボほっかいどう)の共同研究施設の貸与を行うとともに、産学連携による共同研究が円滑に推進されるよう施設の適正な管理運営と、入居者等に対する各種サポートを的確に実施する。

2. 「グリーンケミカル研究所（GCC）」の管理運営事業

(1) GCC体制の再構築

GCCとして研究開発支援事業に取り組むため、新たに公的な競争的資金の獲得を目指し、新規研究職員の採用等体制づくりを図る。

(2) GCC運営のシステム構築

運営・保守管理委員会の下に3つの分科会を設置し、産業総合研究所及び入居企業関係者とのネットワークを強化する。